

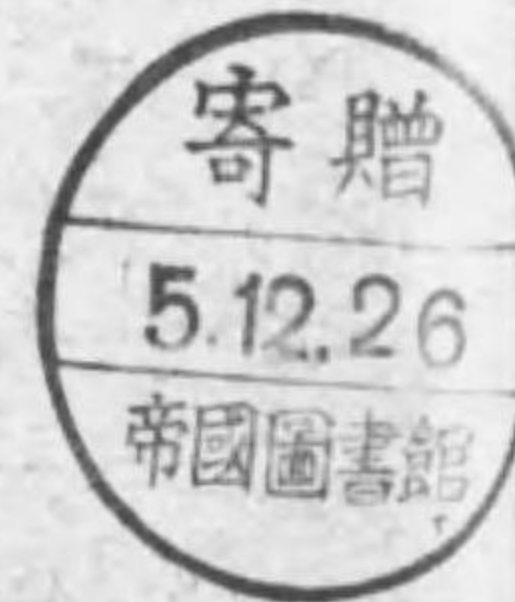
職業介紹公報

第十八號

取 扱 概 況	局 業 資 統
職業紹介取扱成績……………(十月分)……………一	職業紹介所設置……………(十月分)……………六
一般職業紹介……………(十月分)……………一	労働貸立替状況……………(十月分)……………七
日傭労働紹介……………(十月分)……………三	職業紹介事務打合せ其他……………七
傭給生活者職業紹介……………(十月分)……………四	職業紹介所職員異動……………七
職業紹介聯絡取扱成績……………(十月分)……………五	職業紹介所職員異動……………七
職業紹介所被紹介者汽車汽船賃割引ニ關スル件……………六	資料
	營利職業紹介事業概況……………(十月分)……………二
	無料船員職業紹介状況……………(十月分)……………三
	失業状況(推定)月報概要……………(八月分)……………二
	第二回國勢調査に依る全國失業者概數……………三
	性格検査法(精神)三……………四
	統計表
	職業紹介月報……………(十月分)……………九
	日傭労働紹介月報……………(十月分)……………六
	營利職業紹介月報……………(十月分)……………六

昭和五年十二月

中央職業介紹事務局

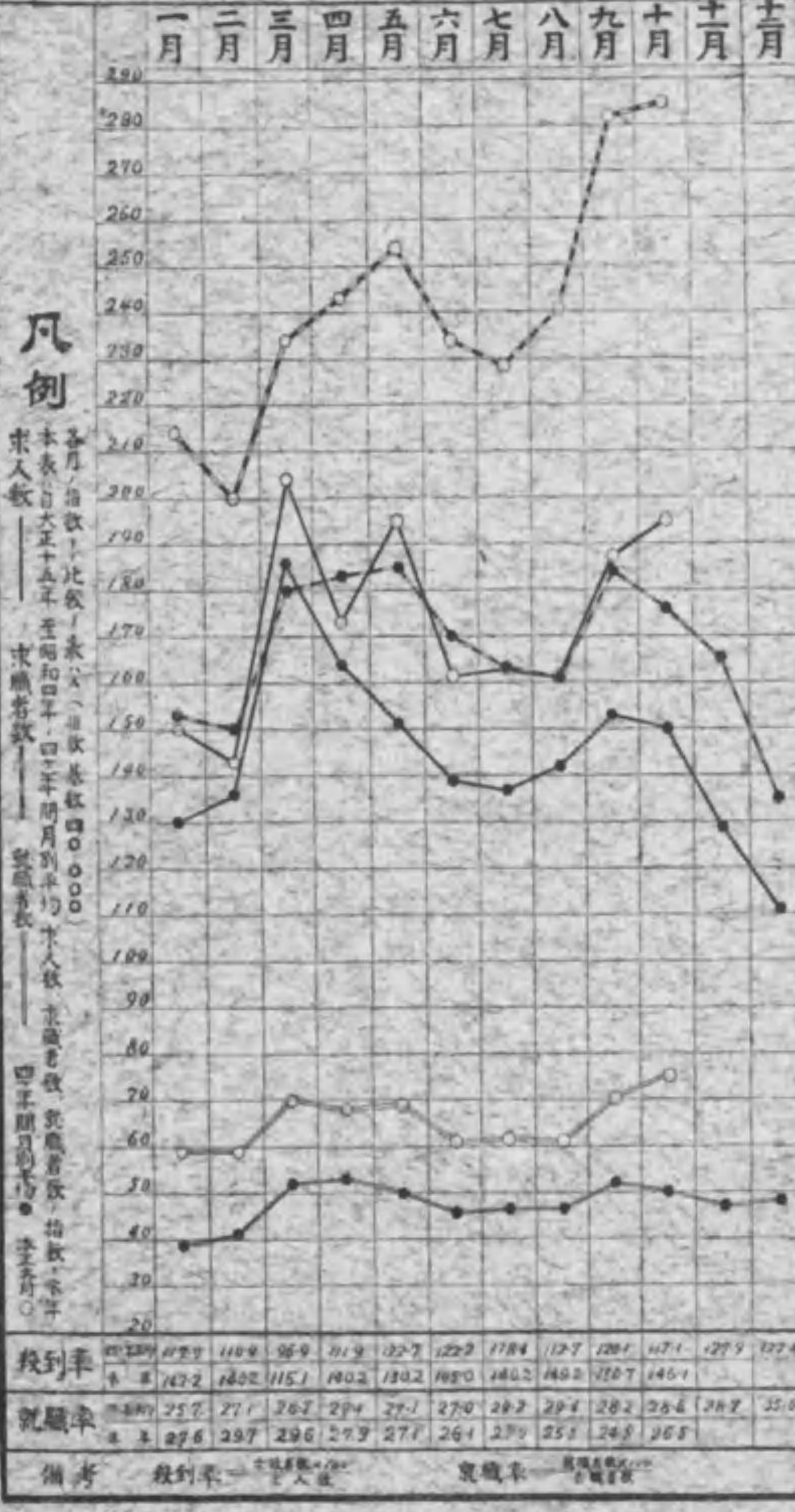


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



職業紹介月別成績表(日備除)



取扱概況

職業紹介取扱成績

一般職業紹介(十月分)
 全国二百七十四ヶ所の職業紹介所よりの報告に基き昭和五年十月中に於ける一般職業紹介事業の取扱概況を述べれば左の如くである。

一、取扱概況

求 人 数	男	女	計
求 人 数	五、五三〇	六、〇七〇	一一、六〇〇
登録数	八、五三三	七、七三三	一六、二六六
求職者 再求数	四、四七〇	三、三三三	七、八〇三
紹介状交付数	四、〇三九	二、八六九	六、九〇八
就職者数	三、四四六	九、七七〇	一三、二一六
求人数に対する求職者数の割合	一四六%	一五一%	一四九%
求職者数に対する就職者数の割合	二六%	二五%	二八%
取扱職業紹介所数	二七四	二六九	二二六

二、前月との比較 (△印は減)

求 人 数	本月	前月	前月比増減
求 人 数	六、〇〇〇	七、五〇〇	△一、五〇〇
登録数	一三、九六六	一三、二四〇	△七二六
求職者 再求数	六、四四八	六、五二四	△七六
紹介状交付数	五、〇七六	五、七三五	△六五九
就職者数	三、一五五	三、〇九八	△五七

三、前年同月との比較 (△印は減)

求 人 数	本月分	前年同月	比較増減(△減)
求 人 数	六、〇〇〇	四、四〇〇	△一、六〇〇
登録数	一六、二六六	一四、三三三	△一、九三三
求職者 再求数	七、八〇三	六、八三三	△九七〇
紹介状交付数	一三、二一六	一〇、四九一	△二、七二五
就職者数	一三、二一六	一〇、四九一	△二、七二五
求人数に対する求職者数の割合	一四一%	△一%	一七%
求職者数に対する就職者数の割合	二四%	二%	△三%

(備考)前年同月に於ける取扱数は青森地方職業紹介事務所管内

二、大阪地方職業紹介事務所管内

求 人 数	本月分	前月	前月比増減(△減)
求 人 数	六、八二二	七、三三三	△五一一
登録数	九、三三三	七、三三三	△二、〇〇〇
求職者 再求数	三、九三三	三、九三三	〇
紹介状交付数	三、九三三	三、九三三	〇
就職者数	三、九三三	三、九三三	〇
求人数に対する求職者数の割合	一三六%	三%	二四%

三、名古屋地方職業紹介事務所管内

求 人 数	本月分	前月	前月比増減(△減)
求 人 数	六、八二二	七、三三三	△五一一
登録数	九、三三三	七、三三三	△二、〇〇〇
求職者 再求数	三、九三三	三、九三三	〇
紹介状交付数	三、九三三	三、九三三	〇
就職者数	三、九三三	三、九三三	〇
求人数に対する求職者数の割合	一三六%	三%	二四%

紹介事務所管内該當数を控除せる分である。前月分比し各取扱数共に増加を見たるは本月中に於ける四ヶ所の職業紹介所増設の結果なりと共に新潟方面の杜氏、山梨縣に於ける失業救済土木事業其他製糸女工等の取扱増加に依るものである。

求職者数に対する就職者数の割合

Table showing ratios of job seekers to employed persons for various categories like '四、福岡地方職業紹介事務局管内' and '五、青森地方職業紹介事務局管内'.

Textual analysis of the data, including a note: '(備考)前年同月取扱数は舊東京地方職業紹介事務局管内中現青森地方職業紹介事務局管内分を現はす。'

五、需要関係

Text describing labor market needs, mentioning sectors like construction and manufacturing, and specific job types like '土木建築' and '製造業'.

八、職業に於ける求人超過となつてゐる。

Text detailing job openings exceeding demand in various industries, listing specific sectors like '機械器具' and '電気瓦斯'.

Table titled '日僑労働紹介 (十月分)' showing job introduction statistics for Japanese expatriates in October, categorized by industry like '嗜好品' and '金属工業'.

Table showing general labor introduction statistics for October, including '求人数' (number of job seekers) and '求職者数' (number of job seekers).

二、前月及前年同月との比較 (△印は減)

Table comparing current month and previous month/year statistics for job seekers and job openings across various categories.

二、大阪地方職業紹介事務局管内

Textual report for the Osaka branch, detailing job openings and hiring trends, mentioning specific numbers and percentages.

一、取扱概況

（取扱専門職業紹介所及専門部設置ある職業紹介所数十一ヶ所）

求職者数 三三三
求職者数 一、二六六
紹介件数 三三三
就職者数 一八二
求人数に對する求職者数の割合 三三・三%

二、需給関係

本月末現在未紹介求人数一三六人にして前月の九四人に比し四二人増加し又月末現在未紹介求職者数は一、四七二人にして前月の一、九六四人に對し四九二人減少となつてゐる。

官公署 一七二人(男九人 女三一人)
個人商店 一五一人(男二人 女三人)
商會社 四二人(男三人 女七人)
工業會社 二六人(男三人 女五人)
保險會社 一五人(男二人 女三人)
個人工場 一四人(男二人 女三人)

三、求職者の教育程度

中等學校卒業及同程度以上の者 一、三〇六人(男九二四人 女三八二人)
專門學校卒業及同程度以上の者 一七三人(男一五三人 女二〇人)
大學卒業 五六人(男五六人 女なし)
其他の者 一七一人(男一六三人 女八人)

五、就職者の給料

工業會社 一一人(男八人 女三人)
學校 七人(男六人 女一人)
個人工場 四人(男三人 女一人)
新聞雜誌社 三人(男二人 女一人)
其他 四三人(男三人 女三人)
計 二二三人(男八人 女五五人)

昭和五年十月係給生活者職業紹介取扱成績

業種別	性別	求人数	求職者数	就職者数	月末現在未紹介		給料	
					求人数	求職者数	最高	最低
官公署	男	一七二	一七二	一七二	一七二	一七二	一七二	一七二
官公署	女	三	三	三	三	三	三	三
個人商店	男	一五一	一五一	一五一	一五一	一五一	一五一	一五一
個人商店	女	二	二	二	二	二	二	二
商會社	男	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二
商會社	女	七	七	七	七	七	七	七
工業會社	男	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
工業會社	女	五	五	五	五	五	五	五
保險會社	男	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
保險會社	女	二	二	二	二	二	二	二
個人工場	男	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
個人工場	女	三	三	三	三	三	三	三

職業紹介聯絡取扱成績 (十月分)

一、第一次求人聯絡日報

指定職業紹介所十五ヶ所中聯絡日報の發行なかりしもの九ヶ所(大阪市中央、京都市中央、岡山市、廣島市東松原、高知市、宇治山田市、下關市、函館市、小樽市中央各職業紹介所)

求人数に對する就職者数の割合 三・六三% 三八・五八%
紹介状交付数に對する就職者数の割合 六・二六% 九・三六%
一九・七九% 二四・二七%

二、第二次求人聯絡日報

指定職業紹介所三四ヶ所中聯絡日報の發行なかりしもの二五ヶ所(横浜市中央、前橋市、水戸市、宇都宮市、甲府市、長野市、千葉市、大崎市中央、京都市中央、神戸市中央、岡山市、廣島市東松原、松山市、高知市、津市、岐阜市、金澤市、下關市、福岡、長崎市、宮崎市、札幌市、仙台市、盛岡市、米澤市各職業紹介所)

業種別	性別	求人数	求職者数	就職者数	月末現在未紹介		給料	
					求人数	求職者数	最高	最低
商會社	男	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
商會社	女	七	七	七	七	七	七	七
工業會社	男	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
工業會社	女	五	五	五	五	五	五	五
個人商店	男	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
個人商店	女	二	二	二	二	二	二	二
個人工場	男	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
個人工場	女	三	三	三	三	三	三	三
學	男	一	一	一	一	一	一	一
學	女	一	一	一	一	一	一	一
新聞雜誌社	男	一	一	一	一	一	一	一
新聞雜誌社	女	一	一	一	一	一	一	一
其他	男	一	一	一	一	一	一	一
其他	女	一	一	一	一	一	一	一

職業紹介所被紹介者汽車汽船賃割引ニ關スル件

昭和五年十二月十日收第... 九號中央職業紹介事務所局長... 各地方職業紹介事務所局長

職業紹介所被紹介者汽車汽船賃割引ニ關スル件

昭和五年十二月八日發第... 三六號二社會局社會局長... 中央職業紹介事務所局長

彙報

職業紹介所設置

大阪地方職業紹介事務所... 八鹿町職業紹介所... 兵庫縣美土郡八鹿町一七八七ノ二

職業紹介所設置

東京地方職業紹介事務所... 柿崎村外九ヶ村職業紹介所... 新潟縣中頸城郡柿崎村大字柿崎六三

労働賃銀立替状況 (十月分)

イ 市町村立職業紹介所労働賃銀立替状況

Table with columns for location (e.g., 東京市, 横浜市, 名古屋市), month (前月小計, 前月分), and financial figures (取立, 立入, 金, 額, 人, 員, 回, 員, 金, 額, 主ナル立替先).

職業紹介事務打合せ其他

小千谷町外四ヶ村職業紹介所... 十月八日縣立小千谷中學校職員生徒(四五年級)百三十名に對し「職業の起源及其の發達に就て」と題し講演をなしたり。

Table with columns for date (期日), subject (科目), and personnel (人員定員, 出席人員).

沼津市職業紹介所に於ては十月十一日静岡縣下職業紹介所事務打合せを開催したるが出席者は久原名古屋地方事務所、藤本静岡縣社會事業主事補他縣下各紹介所職員等十五名にして静岡市職業紹介所提出の「職業紹介法施行規則第十條の但書に依る取扱方法に關する件」以下各所提出の事項に付打合せをなすところありたり。

○伏見市職業紹介所主催の性能検査使用法講習会は十月十八日伏見市高等小學校に於て開催したるが受講者二十八名にして講師元京都府少年教育相談所長藤澤乙夫氏の實踐講演あり。

○浦和町職業紹介所主催北園東職業紹介所事務打合せは十月二十二日、二十三日の兩日浦和町埼玉會館に於て開催したるが出席者は埼玉、藤島、茨城、栃木、群馬各職業紹介所職員並中央職業紹介事務局より田宮局長、東京地方職業紹介事務局より天谷局長、三澤、尾形兩局長、埼玉縣廳より同官學務部長、鈴木社會課長、中村榮馬等五十名にして、東京地方職業紹介事務局提出の指示、注意事項に次いで、「積極的に聯絡を増進する具體的方法」に關し協議をなし各所提出の協議事項に付て打合せをなしたり。

○小坂町職業紹介所主催の聯絡小學校事務打合せは十月二十四日小坂町役場に於て開催したるが出席者は秋田縣より郷間社會事業主事補、郷間小學校長七、小笠原町長等十二名にして少年紹介に關する打合せをなしたり。

○今市町職業紹介所主催の職業紹介宣傳講演會は十月二十五日午後二時今市高等小學校講堂に於て開催したるが聴講者は中等學校小學校職員等四十餘名にして講師中央職業紹介事務局赤坂局長、人口問題と職業紹介事業と題し約二時間の講演をなしたり。

同日午後八時より同町小學校に於て赤坂局長の「職業問題」大阪地方職業紹介事務局稲田局長の「職業紹介所の制度並使命」島根縣山田社會事業主事の「職業紹介事業に就て」講演あり、聴講は

八百名の多數を數へたり、終つて「職業紹介の巻」朝鮮の年中行事」の活動寫眞を映寫せり。

○徳本市職業紹介所は十月二十五日同所に於て縣下各職業紹介所事務打合せを開催したるが縣當局より社會事業主事の出席あり、(一)新設職業紹介所最近の状況(二)紹介所の聯絡に關する件(三)學校との聯絡に關する件(四)女子紹介に關する件に付協議をなすところありたり。

○平野村職業紹介所に於ては十月二十六日同所樓上に於て工場主、工場管理人、事務担当者二百十五名と女子紹介求人懇談會を開催し、求人及求職申込の手續、割引申請並交付方法、就職職工入場後の手續、新規並養成工の求人及求職開拓の件に關し協議をなしたり。

○新潟縣主催の女子紹介協議會は十月二十八日午前十時三十分より新潟師範學校講堂に於て開催せり、出席者は中央職業紹介事務局より齋藤事務官、東京地方職業紹介事務局より天谷局長、中原局長、青森地方職業紹介事務局より千田局長、埼玉、群馬、長野、新潟縣下女子紹介取扱職業紹介所長等六十餘名にして新潟縣よりは黒崎知事、松枝學務部長、安田社會課長等列席し(一)女子紹介に關する協定事項の件(二)女子紹介手續に關する件(三)求人票副本カードに關する件(四)入場開票の解約に關する件(五)女子の歸郷と希望申告書に關する件(六)入場期日延期手當支給に關する件に付協議をなしたり。

○大垣市職業紹介所に於ては十一月四日より三日間同所樓上に於て毛糸織物講習會を開催せり。本郷女子手藝學校織物科卒業生五島きん子氏を講師とし、受講者延人員七十五名なり。會費無料。

○名古屋市中職業紹介所給料部第四回協議會は十一月六日名古屋公會堂に於て開催したるが出席者は來賓中央職業紹介事務局齋藤事務官外六名、委員長青木名古屋市助役、副委員長久住名古屋市社會部長心得、委員飯野名古屋市支局庶務課長外二十九名、幹事富永名古屋市中職業紹介所長、書記外關係者三名等四十三名にして久住副委員長開會の挨拶を述べ青木委員長市長代理を兼ねて一場の挨拶をなし、次に富永名古屋市中職業紹介所長は昭和四年十月より昭和五年九月迄の給料部取扱成績並に委員の移動につき報告し、來賓中央職業紹介事務局齋藤事務官は失業救済に關する最近の状況を述べ名古屋市の奮勵を希望し、糸井名古屋地方職業紹介事務局局長は失業救済に關する名古屋市内労働者の状況を訴へて所感を述べ左記事項の協議をなしたり。

一、小唄給料生活者失業救済のため多少に拘らず臨時事務を計畫することを各方面に勧奨する件
一、筆耕に關する件
一、給料部事務取扱に關する件

をなすところありたり。

○鹿兒島縣社會事業協會主催の聯絡小學校事務打合せは十月二十八日縣會議室に於て開催し福岡地方職業紹介事務局より進藤、藤島より同本社會課長、井上主事等三十九名出席し求職兒童の聯絡方法、小學校との聯絡、就職後の輔導に就て協議をなしたり。

○兵庫縣主催の兵庫縣下職業紹介所事務打合せは十月二十九日縣會議事堂に於て開催したるが社會局より安積事務官、大阪地方職業紹介事務局より遊佐局長、兵庫縣より田島學務部長、植場社會課長、其の他關係職員二十餘名出席し兵庫縣提出の左記事項並各所提出の協議事項を打合せたり。

一、縣と職業紹介所の聯絡を密にする適切な方法如何
一、授産事業の實施に關し職業紹介所としての意見並計畫に關し意見承り度
一、各職業紹介所の求人求職及失業状態の近況承り度

○名古屋市中職業紹介所定期打合せは十月三十一日名古屋地方職業紹介事務局に於て開催せり出席者は市内各職業紹介所長及事務局員等三十餘名にして(一)除隊兵就職斡旋の件(二)筆耕に就て(三)紹介方法の標準化に就て協議打合せをなしたり。

○新潟市職業紹介所二葉小學校共同主催の第四回就職少年慰安會は十一月一日同市二葉高等小學校に於て開催したるが出席者は百二十名にして盛會を極めたり。

○名古屋地方職業紹介事務局に於ては十一月六日女子紹介懇談會を開催し關係職業紹介所職員六名並製糸工場係員八名參集し協議事項をなしたり。

○熊本縣主催の縣下職業紹介所事務打合せは十一月七日日本渡町、十一月十日水俣町、十一日八代町、十二日熊本市に於て開催したるが出席者は支局長、松田社會事業主事、富高主事補、山崎福岡地方事務局長、進藤、職業紹介所職員、聯絡小學校校長その他にして縣學務部長代理、山崎局長の挨拶の後提出の(一)少年の職業指導並紹介に關し職業紹介所と小學校との聯絡方法及其の實績を擧ぐる良策如何(二)現に小學校に於て採りつゝある少年の職業指導並紹介の施設水知致度の他各所提出の事項に關し打合せをなしたり。

○愛媛縣主催の職業指導並性能検査講習會は左記の通り實施せり。

○大阪市中央職業紹介所主催の秋季少年職業紹介事務研究會は十一月一日同所會議室に於て開催せり出席者は大阪、兵庫、奈良、京都、和歌山府縣下職業紹介所の少年部取扱紹介所員等十六名にして大阪地方職業紹介事務局より遊佐局長、鈴木颯郎出席せり、協議事項としては小學校と職業紹介所との聯絡統一に關する件、大口求人口に對する聯絡方法に關する件他六件とす。

○小千谷町外四ヶ村職業紹介所主催の職業紹介事務打合せは十一月二日開催したるが出席者は警察署長、組合内女工保護組合長等四十二名にして主として女工紹介に關する事項に付協議をなしたり。

○下關市職業紹介所主催の就職者表彰式は十一月三日同所に於て舉行したるが被表彰者は五十九名の多數を數へたり、同表彰式終了後修養園理事齋藤官爲秀氏の修養講話あり、次いで雇主の懇談會を開催し(一)一般求職者採用年齢緩和方針の件(二)明治小學校卒業兒童採用方針(三)紹介事務取扱に關する所感を懇談聴取せり。

○島原町主催佐賀、長崎兩縣下職業紹介所事務打合せは十一月四日島原町役場會議室に於て開催せり、福岡地方職業紹介事務局より山崎局長出席し同局提出の諮問並協議事項の他各所の提出事項に付協議をなしたり。

○岐阜市職業紹介所に於ては十一月四日より五日

會場	期日	演題	講師	受講者
今治市自治館	十一月七日	就職後の輔導に就て	遊佐局長	三十名
松山青年會館	十一月八日	同	同	同
同	同	個性調査に就て	鈴木颯郎	同
同	同	職業指導概論	遊佐局長	同
八幡宮町公會堂	十一月十一日	個性調査	鈴木颯郎	同
同	十一月十一日	個性調査	鈴木颯郎	同
同	十一月十二日	性能検査	鈴木颯郎	同

○栃木県主催の縣下職業紹介所事務打合せは十一月十日縣廳に於て開催したるが出席者は原田知事、佐部學務部長、見戸社會課長、他係員並各職業紹介所職員十五名餘にして東京地方職業紹介事務局よりは原田局長出席せり、同會に於ては縣提出の協議事項(一)職業紹介事務所職員の職務(二)求人開拓に關する件(三)失業者の就職紹介に關する件(四)少年職業紹介に關する件、研究事項(一)失業者救済の爲適切な事業如何(二)本縣の産業状態及労働事情に鑑み職業紹介所として更に進出すべき事項如何、を協議し續いて各所の提出事項に付打合せをなしたる。

○浦和町職業紹介所聯絡小學校、川口小學校に於ては十一月十一日同校に於て三澤東京地方職業紹介事務局を講師とし、小學校に於ける職業指導と陶冶」と題し講演ありたり。聴講者は廿學校長他六十五名とす。

○新潟縣主催の同縣下女工紹介事務打合せは十一月十二日縣廳構内常盤會館に於て開催し(一)女工紹介に關する件(二)女工紹介區域擴張の件を協議せり。出席者は松枝學務部長、安田社會課長、桐生主事、その他縣下各職業紹介所職員等三十餘名なり。

○川越市職業紹介所主催の職業紹介研究会は十一月十三日市役所内に於て開催したるが埼玉縣廳より鈴木社會課長榮福臨席し縣提出の(一)求人開拓週回舉行に關する件(二)知識階級失業者の就職斡旋に關する件(三)授産並職業輔導事業としての内職斡旋に關する件(四)女工紹介に關する件他各所提出の協議事項に付打合せをなすところありたり。

○名古屋市中職業紹介所主催の第五回就職児童保護慰安會は十一月十五日市公會堂に於て開催したるが久住社會部長及大岩市長の挨拶に次いで來賓の挨拶あり終つて餘興あり盛會を極めた。

○名古屋市中職業紹介所主催の第五回就職児童保護慰安會は十一月十五日名古屋市公會堂に於て開催せり、出席者は七百九名(兒童五九二、來賓七四、主催側四三)にして社會部長の開會の辭に次いで助役の挨拶並井名古屋地方職業紹介事務局局長、神長教務課長、前津小學校校長の所感あつて餘興に興じつゝ盛會裡に散會せり。

○岐阜市職業紹介所の聯絡小學校、掛妻郡藤橋第一尋常高等小學校主催の岐阜市内並其の附近に就職せる第二回就職少年懇談會は十一月十五日岐阜市職業紹介所樓上に於て開催したるが参加少年は二十三名にして中野調子の講話河野所長の講話並就職少年の報告等ありたり。

○門市市職業紹介所主催の第七回就職者服務主聯絡懇談會は十一月十五日市内甲宗八幡神社禮堂に於て開催したるが來賓者は二百五十名の多數にして來賓として井上兒童研究所長、中野市會副議長、市川市議員、福岡地方職業紹介事務局局長の臨席あり、柿田助役の挨拶に次いで來賓の所感就職者の感想あり。一同は餘興福引に興じ盛會を極めたり。

○神戸市中央職業紹介所主催の少年の大口求人者懇談會は十一月十八日神戸市役所に於て開催したるが出席者は求人側十二名にして遊佐局長も臨席せり。

○前橋市職業紹介所主催の群馬縣中部少年職業指導研究会第二回例會は十一月十八日前橋市役所樓上に於て開催したるが出席者は三十五名にして群馬縣より森田教育主事補、矢部局長出席し、岸會長の挨拶に次いで加藤幹事より第一回例會以後の経過報告をなし、(一)三月卒業児童の就職指導に關する具體的方法(二)少年職業契約改善に關する件(三)尋常小學校に於て施設すべき職業指導の範圍及方法如何(四)就職後の輔導に關する具體的施設如何(五)小學校及職業紹介所に於ける離職未就職児童の指導如何に付協議をなしたる。

○岸和田市職業紹介所主催の少年職業紹介聯絡委員會は十一月十九日同所に於て開催したるが出席者は聯絡小學校職員、同所職員等二十三名にして大阪地方職業紹介事務局より鈴木囑託臨席せり。

○名古屋地方職業紹介事務局主催の除隊兵就職斡旋第三回協議會は十一月二十一日同局會議室に於て開催せり出席者は第三師團司令部及各部隊幹部並市内各職業紹介所長等二十餘名にして職業紹介所に於て開拓したる求人二〇九名に付軍部側と協議をなしたる。

○松之山村職業紹介所主催の同所囑託員協議會は十一月二十二日開催したるが出席者は囑託員二十三名にして女工紹介斡旋に關し打合せをなしたる。

○宇部市職業紹介所主催の少年職業指導懇談會は十一月二十八日市役所會議室に於て開催せり出席

者は少年職業紹介委員並履修者等七八十名にして市長並所長の挨拶の後山崎福岡地方職業紹介事務局長の講話ありたり。

○一宮市職業紹介所主催の少年就職輔導會は十一月二十九日同所に於て開催し所長並一宮市第三課長の講話ありたり。

職業紹介所職員異動

十月二十二日	助役	近野 篤
日黒町職業紹介所長(兼)	書記(兼)	西村 謙吉
同	書記(兼)	小川 通世
同	書記(兼)	神野 耕作
日黒町職業紹介所職員	書記	小笠原 精治
青森市職業紹介所長(兼)	書記	得谷 義典
同	書記(兼)	岩永 芳實
同	書記(兼)	西尾 徳一
同	書記(兼)	小橋 善美
同	書記(兼)	松村 實明
同	書記(兼)	松村 若七
同	書記(兼)	三浦 貞吉
同	書記(兼)	淺利 淳
同	書記(兼)	伊藤 美千代
同	書記(兼)	高島 順作

○一宮市職業紹介所主催の少年就職輔導會は十一月二十九日同所に於て開催し所長並一宮市第三課長の講話ありたり。

資料

一、營業者數

昭和五年十月中に於ける全國營業者數は三、二一一人にして之を前月に比すれば二四人の減少となつてゐる。その内實際に取扱をなせる營業者の數は一、九〇一人にして前月に比すれば二〇七人の減少となつてゐる。

本月に於ける營業者總數は三、二一一人にして之を前月に比すれば二四人の減少となつてゐる。その内實際に取扱をなせる營業者の數は一、九〇一人にして前月に比すれば二〇七人の減少となつてゐる。

而して之等取扱營業者の數は東京地方職業紹介事務局管内に五三四人大阪地方職業紹介事務局管内に八三六人名古屋地方職業紹介事務局管内に二六六人福岡地方職業紹介事務局管内に一〇

九人青森地方職業紹介事務局管内に一五六人を數へてゐる。尙取扱營業者五〇人以上を有する府縣は左の如くである。

大阪府	三三三	福岡縣	六九
東京府	二七八	北海道	六三
兵庫縣	一七〇	埼玉縣	六一
愛知縣	一〇九	神奈川縣	五一
京都府	八三	群馬縣	五一
奈良縣	六九	長野縣	五一

二、一般職業紹介

イ、取扱概況

求人 數	三、六〇八	計	七、八〇二
求職者 數	二、四八三	計	六、八六二
紹介 件 數	三、四三三	計	七、〇三二
就職 者 數	三、四三三	計	七、〇三二
求人 數に對する求職者數の割合	八六%	前月	七八%
求職者數に對する就職者數の割合	五九%	前年同月	七八%

本月の取扱數を前月のそれと比較するに求人數に於て九、七五六人求職者數に於て五、〇〇四人就職者數に於て三、三四三人の各減少を示してゐる。而して取扱率に於て四%増加し就職率に於て一%の低下となつてゐる。

尙前年同月の取扱數と比較するに求人數に於て一四、二九九人求職者數に於て四、九一九人就職者數に於て一、九二六人の各減少を示してゐる。而して取扱率に於て八%低下し就職率に於て一%の向上となつてゐる。

ロ、營業別及府縣別取扱概況

求人數多きものより示せば

戸内使用人 四、八六八
 雑業 七、八二二
 工業及鑛業 一、九六六
 農林業 六、六三三
 求職者登録数多きものより示せば
 戸内使用人 四、八六八
 雑業 六、二一五
 工業及鑛業 一、四三六
 農林業 九、九六九
 千人以上の求人がある府縣を示せば
 東京府 三、九四八
 大阪府 三、七三三
 京都府 三、三六四
 兵庫県 三、八〇〇
 愛知県 三、八三三
 神奈川縣 一、四四六

三、日僱労働者紹介

求職者数 三、二四九
 求職者数 三、〇八二
 紹介件数 一、七六八
 求職者に対する求職者数の割合
 本月 二二・二% 前月 二一・〇%
 前年同月 一五・〇%
 求職者数に対する紹介件数の割合
 本月 四四・% 前月 四〇・% 前年同月 六六・%

本月の取扱数を前月のそれと比較するに求職者数に於て一〇二人求職者数に於て一七一人の各減少を示し求職者数に於て一七二人の増加となつてゐる。而して殺到率に於て二%就職率に於て四%共に向上を示して居る。
 尙前年同月の取扱数と比較するに求職者数に於て一、〇七五人紹介件数に於て一、二一五人の各減少を示し求職者数に於て一、二五五人の増加となつてゐる。而して殺到率に於て六二%増し就職率に於て二二%低下してゐる。

無料船員職業紹介状況 (十月分)

種別	求人		求職者	
	前月	本月	前月	本月
都市別	1	1	1	1
東京	1	1	1	1
横濱	1	1	1	1
名古屋	1	1	1	1
四日市	1	1	1	1
伏見	1	1	1	1
大坂	1	1	1	1
神戸	1	1	1	1
門司	1	1	1	1
下関	1	1	1	1

失業状況(推定)月報概要

種別	調査人口	給料生活者		日僱労働者		其ノ他ノ労働者		計
		失業率	失業率	失業率	失業率			
失業率	1,000,000	7.9%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%
失業率	1,000,000	7.9%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%

(註) 括弧内ハ前月分ヲ表ス
 内務省 社会局

二、主要府縣に於ける失業状況

府縣別	給料生活者		日僱労働者		其ノ他ノ労働者		合計
	失業率	失業率	失業率	失業率	失業率	失業率	
全 国	七、七九七	四、七二七	二、三〇九	八、一七二	四、六二七	五、四七二	一七、七九二
東 京 府	一、四四六	一、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、一六六
京 都 府	一、四四六	一、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、一六六
大 阪 府	一、四四六	一、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、一六六
神 奈 川 縣	一、四四六	一、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、一六六
兵 庫 縣	一、四四六	一、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、一六六
愛 知 縣	一、四四六	一、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、一六六
福 岡 縣	一、四四六	一、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、一六六

第二回國勢調査による
 全国失業者概数

十二月十一日長谷川内閣統計局長談として次の如く公表された。
 本日發表しました失業者概数は、地方に於て國勢調査申告書に基いて作成した府縣都市失業者表に依り計算したものであります。今回の國勢調査に於ては、給料生活者又は労働者であつた者で、現に失業して居るものを調査したのであります。失業とは就業する能力及意思があつて就職の機会を得ない状態と定義し、尙日僱労働者の失業か否かは調査の前日、即ち九月三十日の状態に依つて決定致しました。今回公表の失業者数は右の定義に依るものであることを御注意願ひ度いと存じます

全国失業者概数

本年の國勢調査に依る全国失業者の概数は三二二、五二七なり。之を府縣別に見れば東京の六二、九五七最も多く、大阪の三六、八〇九之に次ぎ、神奈川、兵庫、福岡、愛知の一萬以上更に之に次ぎ、其の他五千以上は北海道、廣島、京都、静岡、和歌山、三重、長野、愛媛、新潟、福島の十府縣、三千以上は岡山、山口、長崎、熊本、高知、埼玉、秋田、岐阜、茨城、栃木、群馬の十一縣、二千以上は岩手、鹿兒島、青森、山形、奈良、宮城、石川、徳島、大分、香川、宮崎の十一縣、一千以上は千葉、佐賀、富山、山梨、鳥取、島根、徳島、福井の八縣にして、沖縄の八五四を最少とす。

宮城 二、四九九 秋田 三、七三三 山形 二、六二七
 福島 五、三九九 茨城 三、三三三 栃木 三、〇七九
 群馬 三、〇七九 埼玉 四、〇〇〇 千葉 一、九四九
 東京 六、九七九 神奈川 一、四四六 新潟 五、四四六
 富山 一、九四九 石川 二、四九九 福井 一、〇七九
 山梨 一、八三三 長野 六、〇七九 岐阜 三、七三三
 静岡 七、七三三 愛知 一、四四六 三重 六、〇七九
 滋賀 一、四四六 京都 七、七三三 大阪 三、七三三
 兵庫 一、四四六 奈良 二、四九九 和歌山 六、〇七九
 鳥取 一、四四六 島根 一、四四六 岡山 四、九四九
 廣島 八、六六六 山口 四、七三三 徳島 三、七三三
 香川 二、四九九 愛媛 五、四四六 高知 四、七三三
 福岡 二、四九九 佐賀 一、四四六 長崎 四、七三三
 熊本 四、七三三 大分 二、四九九 宮崎 二、〇〇〇
 鹿兒島 三、七三三 沖縄 八五四

市部の失業者を見るに、最も多きは大阪の三〇、一九〇にして、東京の二二、八七八之に次ぎ、横濱の二二、六八三、神戸の九、九五八、名古屋の八、四五八、京都の四、二〇一更に之に次ぎ、其の他二千以上は廣島、門司、長崎の三市、一千以上は川崎、福岡、大分、熊本、高知、新潟、小樽、八幡、下関、横須賀、札幌、堺、濱松、岡山、和歌山の十六市にして、其の他の市は何れも千に満たず。而して市部の失業者概数は一五、二二五にして、全国失業者概数の四割六分九厘に達す。

大阪 三、〇七九 東京 三、八三三 名古屋 八、四四六
 神戸 九、九四九 京都 四、〇〇〇 横濱 三、六六六
 廣島 三、六六六 福岡 一、七三三 長崎 三、一六六
 門司 三、一六六 大分 一、七三三 熊本 一、四四六
 鹿兒島 一、四四六 宮崎 一、七三三 徳島 一、四四六

金澤	九六	小樽	一、三六	岡山	一、三六
鹿見島	七九	静岡	九六	佐世保	九六
新潟	一、四三	堺	一、二六	和歌山	一、〇六
横須賀	一、二二	濱松	一、一〇	門司	一、〇二
川崎	一、八二	豊橋	一、〇六	下關	一、〇二
大牟田	一、五五	高知	一、〇六	徳島	一、〇六
岐阜	五九	小倉	九七	前橋	五〇
久留米	三六	旭川	三六	松山	六六
宇都宮	三六	高松	五九	甲府	四六
青森	九六	富山	三三	長野	三六
松本	四七	四時	四三	福井	三六
山形	三九	盛岡	四三	姫路	三六
宇部	四四	那覇	六六	高崎	三六
長岡	三六	若松	四五	大分	三六
津	三六	室蘭	三三	清水	三六
宮崎	三六	八戸	四一	桐生	一〇
奈良	三六	八王子	三三	四日市	三六
高岡	三六	戸畑	三六	釧路	一〇
郡山	四六	宇治山田	五七	秋田	四六
水戸	三六	尼崎	五七	千葉	三六
佐賀	三六	福島	四六	米澤	三六
松江	三六	宇和島	五七	沼津	三六
足利	三六	今治	四六	若松	三六
弘前	三六	別府	四六	一宮	一〇
西宮	三六	明石	三三	大垣	三六
福山	三六	瀬戸	三三	鳥取	三六
都城	三六	上田	三六	岸和田	五九
大津	三六	鶴岡	三六	川越	四六
津山	三六	米子	三六	伏見	三六
山口	三六	高田	三六	倉敷	三六

尾道	一、五	九島	三、五	中津	一、七
首里	五				
大正十四年失業統計調査結果との比較					
大正十四年に失業統計調査を施行したる二十四の重要工業都市及岡山所在地並に其の附近を合したる地域全部に於ける今次の失業率總数は一五・五、五七五にして、大正十四年の失業率總數一〇・五、六一二に比較すれば四九・九六三、即ち四割七分三厘を増加したり。之を各地域別に見れば十八地域は失業率を増加し、東京市及其の附近の二一、九〇七、大阪市及其の附近の二二、〇九一を特に増加の多きものとす。而して其の數を減少したるものに佐世保、仙臺、八幡、長崎、吳、岡山及其の附近の六地域あり。					
地	域	昭和	大正	増減	
		五年	十四年	(増減)	
總	數	一、五、五七五	一、〇、六一二	四、九六三	
札幌	市及其の附近	一、三〇	九一	四九	
東京	市及其の附近	六、〇三六	三、一七七	二、八五九	
京都市	及其の附近	三、〇三六	一、五七六	一、四六〇	
大阪市	及其の附近	三、〇三六	一、三〇九	一、七二七	
大	阪市及其の附近	三、〇三六	一、三〇九	一、七二七	
堺	市及其の附近	一、三〇	八六	四四	
横濱	市及其の附近	二、三六三	九、〇四	三、〇三六	
横須賀	市及其の附近	一、〇六	一、七	七	
神戸	市及其の附近	二、〇三六	八、二二	一、九五三	
神戶	市及其の附近	一、〇六	七九	二七	
尼崎	市及其の附近	一、〇六	七九	二七	
長崎	市及其の附近	二、三三	三、三三	一、〇〇	
佐世保	市及其の附近	一、三〇	一、三〇	〇	
名古屋	市及其の附近	八、〇三六	四、五三	三、五〇三	
濱松	市及其の附近	一、三〇	三、七	二、四七	

仙臺	市及其の附近	九六	一、四〇	△	五〇
金澤	市及其の附近	九七	四〇	△	五七
岡山	市及其の附近	一、三六	一、三六	△	四八
岡山	市及其の附近	一、三六	一、三六	△	四八
廣島	市及其の附近	一、九七	二、三三	△	四五
吳	市及其の附近	一、九七	二、三三	△	四五
和歌山	市及其の附近	一、九七	二、三三	△	四五
門司	市	一、九七	二、三三	△	四五
八幡	市及其の附近	一、九七	二、三三	△	四五
夕張	町	一、九七	二、三三	△	四五
足尾	町及其の附近	一、九七	二、三三	△	四五
大牟田	市及其の附近	一、九七	二、三三	△	四五

性能検査法(精神) (CND)

我々の印象を本位としてその人の性能を判定することは難かしい。一定の條件の下に一定の作業を課し、その業績を何かの物尺にあてはめてその人の性能の優劣を診断する簡易方法、簡単にして比較的確なるものを述べたのであるが、よく交際つてみてその人の性能を判定するのに比べると、いくらか確實であつても一時的な性能検査はその人物を評定する価値に於て劣つてゐることはいふまでもない。やはり人物を鑑識する方法としてはよく交際つてみて、言語、舉動、活動の状態を観察しその結果を綜合して判定するのが一番適當な方法である。けれども夫ではどういふ人間でも、どういふ観察者がどういふ方法を以て観察しても材能認識の方がよいかと云ふとさうばかりはいへない。結局誰がどういふ方法で観察するかといふことが、観察の効果の信頼に値するか否かといふこと

とを決定する重要な条件になる。材能の品評の方法はこれまで著書もなし紹介者もないのである。我々は他人の平素の行状或は他人の作業の成績、或は氣質とか性格とかさういふ情意的特色、或る場合には他人の能力、さういふものを批判する場合に偶然一人の人間が見てゐるところはこれを私は個人品評と云ふが、個人品評をその儘信頼するが如くに利用するのである。例へば或る人が職業を求めに来る。その場合に他の者にあつた人物はどういふ人間か聞き直ぐその言葉をその儘信頼するのである。その推薦者、観察者の言葉は元より何か利害關係があつてはならぬ。不純な事情があつてある場合には的にならぬが、公平に述べたつもりであつても、やはりお互には自分に氣付かないやうな色眼鏡といふものがある。人を自分特有の色付けして見る。或はある性格を特に氣付く人であればそれだけを見て、他の事を忘れてしまふ。自分自身は例へば誰直である場合にはその人物の品性のよい、悪いだけを見て手胸を見てやらない、さうかといふと手胸ばかりを見る人は品性を見ない。だから人の見方は偏頗である。どうもこの偏頗といふものは已むを得ないことで、私のやうに研究室で或る研究ばかりやつて居ると、自分は或る特有の穴から人を眺めて居る。お互に見る世界といふものが違ふそれで人格を萬遍なく認めるといふことが出来なくなつて、各人がお互ひに持つて居る或は自分自身が持つて居る遠眼鏡で眼して居ることになるから努力しても偏頗な觀察をすることになる。更に觀察の結果を表現す

る場合に一律の物尺がない。あの人間は非常に勤勉だ。こちらの人間は割合に怠けるかと云つてもその非常とか割合とかいふ物尺は人によつて違ふ。それで同じ一人の人間を深山の人間が觀察してみても必しも一致するとは限らない、さういふ缺點を補ふために色々な工夫が行はれて居る。斯ういふ個人品評の持つて居る偏頗性及多岐性を除くためにいろいろ工夫されてゐる。その一つは多数表決法といふ方法である。これは多数の人がお互に獨立に觀察したところを寄せ集めて、統計的に表決を取つて衆評を定める。その衆評を以て眞實を示すものと看做す、ところがさう考へなければならぬ重要な點が二つある。一つの點は衆評が果して輿論になつて居るか、この法は政治の場合に屢々使はれて居ることであるが、投票により多数のものを決定しこれを輿論と看做してゐる。いま言つた個人品評をする場合に多数表決をやつて、さうして一方は五十一、一方は四十九として、五十一が正しい、四十九が正しくないといふ考へに過ぎないのであるが、これは衆評と輿論とを直に混同して居る表現であると考へる。九十九人までがその人間を正直と見る。けれども一人或は二人が不可なりと見る。この場合には九十九なり九十八を以て衆評と見てもよい。けれども輿論といふものは不一致であつては輿論ではない。それから第二の間違つた方法は衆評は輿論なりとしても輿論を以て眞實とすること、即ち輿論と眞實との混同である。深山の人間が見たといふことが果して事實であるか、どうか、

これは問題だと思ふ。例へば心理學上の諸観では誰が見ても誤謬がある。斯ういふ見方は何處にもある。殊にその當時の社會意識、新しい思想がはびこり出すと、古い思想が不可なりやうに見へる。或は古い思想が頑強つて居る時は新しい思想が排斥されるから、だから輿論を以て眞實と見ることが出来ない。輿論を以て眞實なりとする時は適當な手段方法があらねばならぬのである。その輿論を構成する個々の人々の判斷といふものは何れも眞實を調み得るやうに工夫されて居らなければならぬ。さういふ各人の意見を綜合して然かもその一致したところだけを取つて、不一致なものをしてとらぬといふことによつて始めて衆評即眞實である。或は衆評が輿論であり、輿論が眞實である。従てその衆評は眞實であるといふことになり得る。故に多数表決を以て物事を便宜的に決めて行くのはよいが、併しそれだけで判定して行くのは餘程考へなければならぬことである。それで次は品評法と評定尺度に就いて述べる。これは共に個人品評を寄せ集めて評定の形にするものである。品評法はアメリカの心理學者カッツァー(Cattell)が始めたものであつて、今假りに數字をあげて見ると、イ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、チ、リ、ヌ、の十人の人間が居るとして、これが社交性がよいか悪いかと云ふ點から我々が判斷して假りに甲はイは第一位とする、ロは第二位、ハは第三位といふやうに順序をつけたとする、次の乙がこれを觀察するとハが第一位で、ロが第二位、イは第三位に順位づけたとする。丙、丁はまた夫々違つた品評

即ち違つた順位なり違つた品等を與へるであらう。

甲	1	2	3	4
乙	3	2	10	5
丙	1	2	3	4
丁	3	2	10	4
イ	1	2	3	4
ロ	2	3	4	5
ハ	3	4	5	6
ニ	4	5	6	7
ホ	5	6	7	8

こゝに順位の平均を取る。イは平均して第二位だ。ロもやはり平均して第二位、互位になつて居るとして、ところでこのイとロとは平均数は同じであるが、平均になつて来た数字が違つて来る。即ち各自のつけた點が違つて居るから各人の成績を示す代表値といふものがイとロの場合には違つて居るのである。その代表的値といふものは違つて来ることは當然であるであらう。一方は非常に違つた順位を與へて二になり、一方は誰が見ても同じやうなところで代表値が定められる。そこでこれを何れが信頼出来るかといふことを定めなければならぬ。その方法に二つある。一つは平均値といふものを求める。これはこの平均値と個々の値との差を求める $\sum (x_i - \bar{x})^2$ の平均値が餘り大きい場合にはこの平均値を信用しない。例へばハの場合には大變な差があるからこの平均値を信用しない。ロの場合にはそれが少ないから、これは信頼出来るといふことになる。これは順位で示したのである。他の方法としては平均偏差を用ひないで指数をつける。これは蓋然錯誤といふものを求める。これは $P = \frac{0.6745}{\sqrt{n-1}}$ といふもの

ので現はされるのであるが、普通カテゴリーの意見によれば、この蓋然錯誤が平均値の四分一乃至五分一以上に及ぶ時はその衆評は輿論としては信頼してはならない。蓋然錯誤が小さければ小さい程各自の意見が一致して居る。故に衆評の中で輿論として採用出来るものと出来ないものとを判断して、輿論として用ひるものだけを取つて輿論として用ひやうとする。これなどは學校方面で子供を品評する場合、學業或は操行を品評する時、これまででは漫然として品評されてゐたのであつたが、かゝる方法でコントロールされなければならぬと思ふ。ところが斯く深山の品評者を寄せ集めて品評することは困難である。平生子供を取扱つてゐる受持の先生が一人ある場合には二三人の先生の品評法といふものは使はれない。さういふ場合には品評法が確立でなくなるがそれでも個人品評法に比べるとまだよい。第二番目の評定尺度法はどういふ特色があるかといふと、先づ第一に評定する場合に評定の標準を豫め定めて置くといふことである。先の言葉でいへば人好きがよいか、悪いかといふことを考へて見ると我々が惡と考へる場合と漫然と考へる場合とはその觀察の精密であるか不精密であるかといふ違ひが起きて来る。それで或る標準を意識しながら殊更にその人がなすことを眺めて見るさういふやうにすることが確實に精密にする。所がそれを眺める場合各人が一様に考へなければならぬ。私は社交性と考へることを諸君は社交性でないかと考へるかも知れない。一人が考へて非社交的と考へる場合、他の者は出

過ぎると考へるかも知れない。故にその意見は輿論とはならない。何を以て社交性とするかといふ事を定めて置く。さうしてその子供が或る場合に斯ういふことをしたら社交性と看做す、さういふ標準の域を一様にして置く、意味を限定して置くのである。これが一つの特徴。第二は評定の結果を数量的に何か物尺を使つて現はすことである。これは屢々行はれてゐることである。例へば百點満點法、十點満點法、或は甲乙丙丁で示す。さういふものが使はれて居るがこれまでの評定法といふものには缺點がある。例へば學科にしても零點の取り方といふものが違つて来る。學期試験、入學試験などの採點の仕方を見ると、六十點から八十點、九十點にまたがつて違ふ。學理的に見れば各學生の分布を見れば出来ないものは零點、出来るものは百點と行くのであるが、實際の零點は五十點、六十點である。更に教員により點の程度に相違がある。これを統計的に整理して見ても輿論といふものは出て来ない。況や評語法によると、尙缺點が出てくる。即ち物尺が違つて来るといふことになる。だから普通の場合の測定でも考へられるが、直ぐその尺度といふものを考へて置かなければならぬのである。これは有名な話であるがダニエル、スタークが一枚の答案を多數の先生に見せて學生の點数がどういふやうに違つて来るかといふことを調べた處が、數學の點数は大抵一緒であるが、スタークは幾何の答案を用ひたのであるが、それを數學の先生に題はして、採點をして貰つた。するとその結果は驚くべきもので高い點

を與へましたものは九十點を與へ、低い點は二十點といふ差があつた。故にこれを入學試験とすると、高い點を與へた先生の見た子は良い子供として入學させられるが、こちらの先生の方では悪い子供となる。その他歴史、地理などを調べるに餘計にムラが多い。それに就いて日本で二三研究されたことがあるが、やはり同じ結果であつた。數學ですらそれだから、他の圖畫とか、手工になつると尙更にムラがある譯である。さういふ缺點を無くする爲には尺度を作つて、然る零點のところを各人がうまく合ふやうに、また百點のところをうまく合ふやうにしなければならぬ。それから三として成績を示す場合の標準、即ち表示の標準といふものを作つて置く。これまでの評定法或は評語法では評定の結果を数字的に表示する場合、或る人間の成績を以て普通である。或る人間の成績を優秀、或る人間の成績を低劣であるといふことには、その標準を定める。即ち或る中位のものに標準にするか、或は出来る者を標準にするか、或は出来ない子供を標準にするかとする。普通優秀なものを標準として點數をつけて行く場合には全體の點數がからくなる。智能能率で云ふと智能の優秀なものを標準として行く。他の者は大抵馬鹿に見へる。それから出来ない者を標準として見ると點數は餘る。正當な點數に就きては或る標準をまん中に置くべきである。或る一定の作業を標準として人々を計つて見ると鐘型のものになるべきである。従つてその標準は中央に置くべきである。或る學年或は職業經驗その他の特定の信

頼に就いて云へば、その衆評に關する限りに於て普通の人間は先づどれ位かといふことを定めて、それより上に居るか、下に居るかといふことを定めなければならぬのであります。故に表示の標準といふものは中央に置くべきであるが、これは評定尺度であるが、今は多數人に就いて云ふから衆評尺度といふそれについては一二具體的の例を述べよう。人々比較法に就いてはアメリカの軍隊で歐洲大戦中の將校の軍事成績の品評に使つた方法である。先づこの方法を我々が使ふ場合は主尺度といふものを使つて行くのである。先づ相互ひがよく知つてゐる人間を何人か選び出し、假りに尋常六年の場合を例に取つて學力の主尺といふものを作つて置く、それはその學級から五人出す、學力の程度から考へて五十人の子供を一番から五十番まで、序列的に列べてさうして五番目の人間、十五番目の人間、二十五番目、三十五番目、四十五番目といふやうに十人毎に中央の人間を取つて代表させるのである。さういふ風に一位といふものを他の人は十位に置くことがあらうが、併し隨分下の方に四十番、五十番といふところに置くことはない。殊に五十人を置く場合にはさう違つてはこない。この a, b, c, d, e の五人を以て五つの段階を代表する人物と看做のである。斯ういふやうに選ばれた人名表これが主尺度である。斯ういふものを作つて置く、今度他の尋常六年が来る。これを我々が觀察する。自分はよく知つてゐなくともよいが、これを何等かの方法で調べて見

て、さうして a, b, c, d, e の五人のどれに近いかを判定する。例へば私のよく知らない子供で a といふ者がある。その出来栄えからいふと a に近い。するとこの子供に與へるのに a の取つた點を與へる。さうしてこれと同一段階に屬するものだと鑑別する。今度は D といふ者が来る。これは a や b ほど出来ない。どうも d に近いから d の段階に入れるのが一段よいと看做す。斯ういふことも比較する具體的な人物がある。だからさういふ者を頭に浮かべながら判別するのだから、たゞ漫然とやるよりは仕事が客觀的になる。さうしてこちらに五種類の差の開きがあるから、まあこの段階に入れることは間違ではない。各自相當の品評が出来ることである。けれどもこの主尺度といふものを作るには骨が折れるから、實際上靈効がある人たちに對してはお勧めは出来ないが、一旦主尺度が出来ると、それは何年でも役に立つこれは店員などの判定或は工場技術の判定などに就いて餘程役立つものである。これをマスタースケールといふ。次にこの外に圖示評定尺度といふものがあるが、これは單に段階の點數の形で出させるだけではない。行動の實例を擧げて、段階を判定させることを容易ならしめる。彼は同輩に比べると智力が遙かに勝つて居るかといふ問題を出して、五の答へ——遙かに勝つて居る。幾分勝つて居る。略と變りない。少し劣つて居る。非常に劣つて居る——さうしてその下に種々な言葉を擧げて置いてどの場所に置くかといふので、當つたところを○をつける、次は觀察力はどうかといふ。これも

昭和五年十月職業別職業紹介月報

職 業	求 人 数			求 職 者 数						紹 介 状 交 付 数			就 職 者 数			
	男	女	計	登 録 数		再 来 数		男	女	計	男	女	計	男	女	計
				男	女	男	女									
一、工 業 及 織 業	1.製 織	133	1,590	1,723	152	98	250	24	10	34	87	92	179	69	74	143
	2.紡 織	187	908	1,095	518	613	1,131	152	58	210	145	556	701	74	507	581
	3.染 織	569	37	606	808	36	844	392	14	406	499	12	511	252	11	263
	4.製 織	1,365	1,058	2,423	1,241	794	2,035	569	231	800	813	690	1,503	341	305	646
	5.機 織	554	—	554	2,947	22	2,969	2,526	10	2,536	618	10	628	269	1	270
	6.織 機	310	—	310	471	—	471	276	—	276	301	—	301	89	—	89
	7.電 織	290	—	290	1,438	12	1,450	1,166	2	1,168	393	29	422	156	10	166
	8.金 織	914	18	932	3,465	7	3,472	2,453	—	2,453	935	29	965	471	5	476
	9.製 織	69	—	69	148	18	166	74	4	78	63	11	74	30	9	39
	10.機 織	6	—	6	13	17	24	11	4	15	7	9	16	5	4	9
	11.肥 織	25	—	25	44	2	46	16	1	17	22	1	23	17	1	18
	12.製 織	284	124	408	283	50	333	215	8	223	251	72	323	103	45	148
	13.製 織	970	94	1,064	2,151	31	2,182	1,813	17	1,830	1,072	63	1,135	355	28	383
	14.食 織	1,063	21	1,084	1,029	14	1,043	337	3	340	791	17	808	460	3	463
	15.嗜 織	6,021	25	6,046	4,018	22	4,040	736	9	745	3,576	31	3,607	2,519	16	2,535
	16.採 織	63	—	63	84	—	84	13	—	13	52	—	52	37	—	37
	17.其 小	1,844	621	2,465	7,732	1,203	8,935	5,901	696	6,597	1,829	485	2,314	938	252	1,190
計	14,665	4,565	19,230	26,546	2,933	29,475	16,674	1,066	17,740	11,454	2,098	13,552	6,185	1,271	7,456	
二、土 木 建 築	18.大 工	648	1	649	1,272	—	1,272	494	2	496	533	1	534	287	1	288
	19.左 工	138	—	138	270	—	270	101	—	101	113	1	114	54	—	54
	20.右 工	52	—	52	78	—	78	34	—	34	49	—	49	25	—	25
	21.土 方 工	3,792	39	3,831	7,773	46	7,819	2,051	12	2,063	3,545	28	3,573	2,437	25	2,462
	22.其 小	442	9	451	940	10	950	580	—	580	456	8	464	280	8	288
計	5,072	49	5,121	10,333	56	10,389	3,260	14	3,274	4,696	38	4,734	3,283	34	3,317	
三、商 業	23.店 員	3,102	545	3,647	8,685	3,159	11,844	5,361	1,855	5,216	3,703	737	4,440	1,384	280	1,664
	24.小 店 員	4,713	272	4,987	2,302	682	2,984	939	380	1,319	2,245	372	2,617	980	164	1,144
	25.商 店 員	3,449	86	3,535	7,473	175	7,648	5,445	154	5,599	4,011	76	4,087	1,750	58	1,808
	26.飲 食 店 員	2,387	1,639	4,026	5,152	394	5,546	3,444	179	3,623	2,594	498	3,092	1,165	231	1,396
	27.行 店 員	2,146	132	2,278	858	22	880	269	4	273	1,137	8	1,145	506	4	510
	28.其 小	294	20	314	303	13	316	131	3	134	229	15	244	139	8	147
計	16,091	2,694	18,785	24,773	4,445	29,218	15,589	2,575	18,164	13,919	1,706	15,625	5,924	745	6,669	
四、農 林 業	29.農 作 園 藝	432	7	439	553	3	556	171	—	171	402	2	404	265	2	267
	30.養 蠶 業	2	—	2	5	—	5	1	—	1	1	—	1	2	—	2
	31.林 業	8	—	8	12	—	12	—	—	—	6	—	6	7	—	7
	32.其 小	16	—	16	14	—	14	4	—	4	16	—	16	5	—	5
計	458	7	465	584	3	587	176	—	176	425	2	427	309	3	312	
五、水 産 業	33.漁 業	71	1	72	61	3	64	1	—	1	47	—	47	44	—	44
	34.製 鹽 業	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	35.其 小	26	—	26	23	—	23	11	—	11	14	—	14	15	—	15
計	98	2	100	84	3	87	14	2	16	61	—	61	59	—	59	
六、通 信 運 輸 業	36.船 隻 運 送	15	—	15	132	—	132	31	—	31	15	—	15	9	—	9
	37.鐵 道 運 送	13	—	13	77	—	77	40	—	40	13	—	13	4	—	4
	38.電 報 運 送	34	—	34	199	—	199	40	—	40	58	—	58	2	—	2
	39.自 動 車 運 送	228	17	245	1,170	47	1,217	538	7	545	263	15	278	100	13	113
	40.通 信 運 送	30	38	68	126	170	296	68	69	137	33	154	187	11	26	37
	41.運 送 業 丁 他	440	—	440	865	—	865	313	—	313	456	—	456	287	—	287
	42.車 夫 馬 丁 他	99	—	99	253	—	253	137	—	137	161	—	161	59	—	59
	43.其 小	37	4	41	48	1	49	16	1	17	39	—	39	17	—	17
	計	896	59	955	2,870	218	3,088	1,183	77	1,260	1,038	169	1,207	489	39	528
	44.便 利 運 送	122	13,963	14,085	271	12,593	12,864	264	5,141	5,405	165	11,551	11,716	72	6,002	6,074
七、用 人 使	45.乳 母 見 守	7	1,536	1,543	13	596	609	3	182	185	3	612	615	—	361	361
	46.書 生 小 使	481	167	648	2,486	653	3,139	2,451	463	2,914	773	299	1,072	280	114	394
	47.番 人 小 使	224	155	379	2,768	187	2,955	2,586	46	2,632	374	129	503	143	85	228
	48.其 小	138	344	482	664	406	1,070	678	219	897	159	258	417	94	163	257
計	972	16,165	17,137	6,202	14,435	20,637	5,982	6,051	12,033	1,474	12,849	14,323	589	6,725	7,314	
八、雜 業	49.官 公 吏 員	97	21	118	397	16	413	198	8	206	68	71	139	52	5	57
	50.教 務 員	15	31	46	89	69	158	46	19	65	5	25	30	9	14	23
	51.事 務 員	588	454	1,042	5,094	2,431	7,525	4,678	1,524	6,202	699	656	1,355	300	235	535
	52.看 護 士	32	490	522	57	726	783	19	247	266	28	411	439	11	214	235
	53.醫 師 助 手	11	6	17	17	1	18	9	—	9	—	1	5	—	—	—
	54.藥 局 員	26	21	47	148	47	195	132	12	144	39	18	57	16	10	26
	55.外 交 集 金 人	8,520	981	9,501	2,336	72	2,408	1,043	23	1,066	2,565	89	2,654	959	36	995
	56.配 給 員	1,441	8	1,449	2,510	1	2,511	1,488	4	1,492	1,363	2	1,365	643	2	645
	57.理 髮 師	164	193	357	84	34	118	23	14	37	57	31	88	29	18	47
	58.娯 楽 場 場 人	39	353	392	134	108	242	21	28	49	31	122	153	19	53	72
59.其 小	2,168	568	2,736	3,787	940	4,727	2,800	511	3,311	2,313	551	2,864	1,560	313	1,873	
計	13,101	3,126	16,227	14,653	4,445	19,098	10,457	2,390	12,847	7,172	1,977	9,149	3,598	900	4,498	
九、無 希 望	60.無 希 望	—	—	—	1,206	197	1,403	812	126	938	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	1,206	197	1,403	812	126	938	—	—	—	—	—	—
合 計	51,353	26,667	78,020	87,251	26,735	113,986	54,147	12,301	66,448	40,239	18,839	59,078	20,436	9,717	30,153	

五に分けて、さうしてこれを以て判定する方法がある。斯ういふ方法は圖示的に判定の結果を現はすから、その結果を統計的に見ればよい。さうして中央のところを標準にする。これは人毎に物尺が違つたり或は判定の順序が違つたりしない。各自のなすところが一時的になつてゐるから結果をまとめ易い。併し斯ういふ方法であつても結局觀察者の觀察力が進んでゐないで役は立たないのである。結局如何なる人が評定者として選ばれるか、またどの位評定することに關して居るか、もう一つ重要なことは被評定者をどの位知つてゐるかといふことである。これ等に氣をつけて適當の人を選んで適當の人に品評させて行く場合にはいい方法である。併し完全の點數を得なければならぬから、併し完全の點數を得なければならぬ。

我々の人物観、個性観といふものは一般性、規定性であるところを取り出して来なければならぬ。故に偶然的印象のために或は偶然の感想の爲にその人物の個性が混亂せられるやうでは困る。その人間をよく買つて居つたか、或は個人の場合に或る舉動を示したから非常によく見へる。或は非常に嫌ふやうになる。すると大變に動搖を始めて来る。それでは不可なのであるからその人の日常の舉動とか、或はテストをやつた場合にこれを萬遍なく見る。一部の現象だけなく萬遍なく觀察するといふことが必要である。今述べた素評式の觀察を要する人物認識にしる、或は個人觀察をする性能判断法にしる、充分に役立つと思ふ。テストの成績が良いからといって、我々これを信用し

てはならぬ。事實多くの検査、殊に智能検査になると、テストの悪い人間は智能が低劣だといふことが判るが、よい者は必しも優秀なものとは限らない。殊に採用試験などに使ふ試験法、検査法になると直接の利害關係が伴ふから、よい事になるが、併し使つて見るとよく行かないから或る偶然の時だけ踏ん張れるといふ人である。さういふ人を取つて實際仕事に就けると日常就業員として向かないといふことになる。殊に個性觀察の結果を職業指導に使ふ場合、いまいつたやうな見方は役に立つ。余の年來の持論であるが、職業指導といふものは適材適所に置くべきものでない。不適材を不適所に置くべきものでない。これは屢々絶対的に用いられなければならない。それは屢々職業と對するが間違でなく考へられなければならない。それから就職の困難といふものが伴ふのである。さういふ人間があつて、これを職業に導く場合、その人間に取つて理論的に適職と思はれるものは割合数が少ない。また不適當といふものも割合数が少ない。その場合この人間を或は官廳の事務員に擔任だといふことは分つても、さういふ職業を見付けてはめやうとしても就職口が見つからなければならぬ。その職業に就くことは差控へなければならぬ。それまで徒食させて置かなければならぬが、實際に職業を求めるのはその日／＼に食ふに困つてゐるのであるから職業紹介

東京地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (續)

職業紹介所名	求 人 数			求 職 者 数						紹介状交付数			就 職 者 数			
	男	女	計	登 録 数		再 来 数		男	女	計	男	女	計	男	女	計
				男	女	計	男									
新高出	56	37	93	67	41	108	78	15	93	45	42	87	34	29	63	
湯田	19	251	270	20	4	24	5	1	6	8	3	11	5	3	8	
雲崎	11	11	22	51	2	53	5	—	5	12	1	13	7	1	8	
市町	36	40	76	26	23	49	—	—	—	16	12	28	16	12	28	
新島	73	25	98	98	44	142	27	11	38	60	21	81	40	16	56	
長寺	46	11	57	38	11	49	—	—	—	38	11	49	38	11	49	
南町	185	22	207	89	24	113	30	5	35	89	24	113	89	24	113	
新島	357	24	381	335	22	357	—	—	—	328	22	350	179	20	199	
新島	45	101	146	35	99	134	—	—	—	28	73	101	23	70	93	
新島	47	12	59	33	3	36	—	—	—	32	3	35	3	3	6	
新島	253	62	315	274	64	338	51	20	71	232	54	286	204	51	255	
新島	215	5	220	199	2	201	—	—	—	171	2	173	174	3	177	
新島	7	9	16	21	13	34	3	2	5	10	11	21	8	10	18	
新島	425	96	521	308	75	383	4	—	4	300	75	375	224	61	285	
新島	368	25	393	286	3	289	3	—	3	289	3	292	285	3	288	
新島	120	28	148	90	23	113	—	—	—	90	23	113	59	17	76	
新島	448	11	459	454	11	465	—	—	—	445	11	456	324	13	337	
新島	48	111	159	46	19	65	—	—	—	46	19	65	46	19	65	
新島	164	53	217	152	36	188	—	—	—	110	32	142	110	31	141	
新島	209	33	242	164	13	177	—	—	—	164	13	177	163	13	176	
新島	426	183	609	426	183	609	3	1	4	426	183	609	229	90	319	
新島	94	11	105	96	11	107	—	—	—	93	11	104	93	11	104	
新島	50	101	151	38	57	95	—	—	—	38	57	95	32	57	89	
新島	230	3	233	206	3	209	—	—	—	227	3	230	227	3	230	
新島	206	60	266	274	68	342	—	—	—	272	58	330	37	18	55	
新島	4,222	1,328	5,550	3,916	844	4,760	212	61	273	3,769	767	4,536	2,678	589	3,267	
川越	56	33	89	74	32	106	6	4	10	34	22	56	27	14	41	
川越	38	33	71	77	42	119	3	4	7	18	14	32	13	14	27	
川越	47	109	156	89	98	187	4	39	43	35	88	123	25	63	88	
川越	17	25	42	82	29	111	10	5	15	35	29	55	31	14	45	
川越	188	200	388	322	192	514	23	53	76	122	144	266	96	105	201	
前橋	30	8	38	44	19	63	7	—	7	20	6	26	14	3	17	
前橋	32	32	64	45	26	71	8	11	19	28	29	57	16	17	33	
前橋	25	10	35	49	10	59	10	3	13	19	6	25	14	5	19	
前橋	17	25	42	29	29	58	—	—	—	4	13	17	12	13	25	
前橋	24	18	42	102	21	123	2	—	2	12	13	25	12	13	25	
前橋	128	93	221	269	93	362	27	18	45	92	63	155	68	51	119	
千葉	38	37	75	40	34	74	9	8	17	24	29	53	4	17	21	
千葉	17	17	34	23	2	25	8	—	8	5	—	5	1	—	1	
千葉	55	54	109	63	36	99	17	8	25	29	31	60	5	19	24	
茨城	184	75	259	321	31	352	22	23	45	111	28	139	88	22	110	
茨城	47	16	63	47	8	55	3	—	3	39	5	44	18	3	21	
茨城	99	20	119	68	28	96	6	8	14	40	15	55	27	12	39	
茨城	12	10	22	10	3	13	1	—	1	—	—	—	—	—	—	
茨城	342	121	463	446	70	516	32	32	64	191	49	240	134	38	172	
栃木	36	43	79	87	38	125	8	10	18	9	13	22	8	7	15	
栃木	88	29	117	96	25	121	23	5	28	72	25	97	63	25	88	
栃木	61	45	106	74	18	92	15	6	21	34	10	44	29	4	33	
栃木	5	3	8	7	—	7	—	—	—	—	2	1	3	2	3	
栃木	190	120	310	264	82	346	46	21	67	117	49	166	102	37	139	
山梨	189	15	204	1,129	27	1,156	306	10	316	225	22	247	171	10	181	
山梨	38	1	39	523	28	551	21	5	26	13	2	15	8	—	8	
山梨	227	16	243	1,652	55	1,707	327	15	342	238	24	262	179	10	189	
長野	103	29	132	212	14	226	3	—	3	115	14	129	115	14	129	
長野	50	15	65	135	13	148	62	2	64	48	4	52	29	2	31	
長野	58	40	98	66	25	91	3	6	9	34	20	54	26	17	43	
長野	111	1,013	1,124	44	8	52	9	4	13	14	4	18	8	3	11	
長野	322	1,097	1,419	457	60	517	77	12	89	211	42	253	178	36	214	
東京地方合計	28,729	12,974	41,703	45,758	13,132	58,890	29,503	6,666	36,169	22,305	8,949	31,254	10,090	4,098	14,188	

東京地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (百三箇所)

職業紹介所名	求 人 数			求 職 者 数						紹介状交付数			就 職 者 数			
	男	女	計	登 録 数		再 来 数		男	女	計	男	女	計	男	女	計
				男	女	計	男									
東京市中央	4,736	1,658	6,394	7,751	2,041	9,792	9,335	1,470	10,805	3,515	1,537	5,052	827	366	1,193	
東京市芝罘橋	770	409	1,179	1,200	304	1,504	780	121	901	542	266	808	131	96	227	
東京市大塚	832	372	1,204	1,046	504	1,550	771	165	936	730	411	1,141	126	159	285	
東京市上野	1,564	467	2,031	2,622	760	3,382	3,208	593	3,801	1,394	532	1,926	314	203	517	
東京市浅草公園	1,156	344	1,500	2,259	386	2,645	1,976	286	1,962	846	339	1,185	181	104	285	
東京市花園橋	503	342	845	926	332	1,258	604	174	778	306	179	485	151	94	245	
東京市糀町	448	150	598	862	110	972	657	22	679	250	70	320	71	16	87	
東京市技術労働	29	—	29	27	—	27	—	—	27	—	—	24	14	—	14	
東京市麩橋	509	110	619	1,262	119	1,381	1,145	26	1,171	652	69	721	194	24	218	
東京市船場	607	718	1,325	658	1,115	1,773	613	739	1,352	477	547	1,024	127	131	258	
東京市船場少年	10	9	19	288	189	477	101	66	167	9	13	22	8	9	17	
東京市本郷	3,405	879	4,284	4,037	1,618	5,655	2,697	1,341	4,038	1,520	547	2,067	853	356	1,209	
東京市青年会	219	34	253	966	75	981	1,015	25	1,040	271	28	299	121	14	135	
救世軍努力会	20	4	24	16	5	21	20	—	20	11	3	14	8	2	10	
救世軍月島	25	5	30	50	21	71	13	8	21	26	9	35	10	2	12	
愛国婦人会婦人	—	—	—	373	—	373	—	—	373	—	—	343	343	—	123	123
愛国婦人会婦人	—	—	—	339	—	339	—	—	339	—	—	224	224	—	101	101
労働共済会	29	12	41	130	28	158	21	5	26	70	21	91	42	18	60	
築地本願寺	24	21	45	96	55	145	38	33	71	56	47	103	18	20	38	
江國寺	42	—	42	48	1	49	—	—	49	36	1	37	25	1	26	
護国寺	177	94	271	305	85	390	102	30	132	127	72	199	36	19	55	
浅草本願寺	159	95	254	925	144	1,069	322	57	379	242	58	300	77	31	108	
龜戸町	87	69	156	375	138	513	141	46	187	62	132	54	55	109		
荒川町	588	212	800	926	214	1,170	111	29	137	474	292	676	323	170	493	
荒川町	219	122	341	356	98	454	188	50	238	119	75	194	51	27	78	
大崎町	458	249	707	757	195	952	173	48	221	328	113	441	210	108	318	
千駄ヶ谷町	287	68	355	271	59	330	151	37	188	150	33	183	93	27	120	
東京市千住	677	228	905	918	131	1,049	320	51	371	566	113	679	265	81	346	
東京市大島	730	58	788	1,854	93	1,947	788	45	833	695	61	756	440	41	481	
東京市王子	301	90	391	464	93	557	175	31	206	229	69	298	138	44	182	
北豊島工員	153	8	161	244	17	261	29	5	34	199	12	172	129	6	135	
八王子市	91	77	168	258	44	302	254	45	299	71	25	96	63	17	80	
香取町	119	44	163	428	19	447	319	—	319	51	8	59	39	7	46	
品川町	409	162	571	658	137	795	526	54	580	403	116	519	307	68	375	

大阪地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (續)
昭和五年十月分

職業紹介所別	求 人 數			求 職 者 數			登 錄 數			再 來 數			紹 介 狀 交 付 數			就 職 者 數		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
山 支 市	75	103	178	106	86	192	65	84	149	47	78	125	22	59	81			
山 支 市	1	80	81	—	85	85	—	13	13	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	23	41	64	36	32	68	1	2	3	17	21	38	8	13	21			
山 支 市	65	90	155	49	94	143	—	—	—	39	72	111	38	68	99			
山 支 市	51	22	73	79	23	102	20	10	30	42	12	54	34	11	45			
山 支 市	47	68	115	91	86	177	40	30	70	51	68	119	35	45	80			
山 支 市	11	19	30	23	28	51	1	2	3	21	28	49	10	14	24			
山 支 市	1	3	4	4	6	10	3	11	14	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	273	426	699	388	440	828	130	152	282	217	375	592	147	249	396			
高 知 市	91	160	251	276	256	532	17	50	67	90	121	211	34	67	91			
高 知 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
高 知 市	91	212	303	276	366	642	17	38	55	90	184	274	34	81	115			
大阪地方合計	12,315	8,197	20,512	26,037	8,959	34,996	20,288	4,292	24,580	10,176	6,044	16,220	5,552	3,168	8,720			

福岡地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (三十二箇所)
昭和五年十月分

職業紹介所別	求 人 數			求 職 者 數			登 錄 數			再 來 數			紹 介 狀 交 付 數			就 職 者 數		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
山 支 市	7	5	12	14	5	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山 支 市	34	42	76	98	31	129	9	4	13	34	34	68	22	27	49			
山 支 市	33	1	34	21	1	22	—	—	—	21	1	22	21	1	22			
山 支 市	52	33	85	105	28	133	18	4	22	69	24	92	25	14	39			
山 支 市	—	3	3	11	1	12	3	1	4	5	1	6	—	—	—			
山 支 市	1,192	—	1,192	21	—	21	—	—	—	20	—	20	20	—	20			
山 支 市	1,323	84	1,407	270	66	336	30	9	39	149	62	211	88	45	133			
山 支 市	537	338	875	577	226	803	289	84	373	218	138	356	67	74	141			
山 支 市	99	35	134	254	47	301	38	8	46	96	32	128	71	21	92			
山 支 市	177	39	216	211	24	235	42	2	44	69	9	78	52	7	59			
山 支 市	70	46	116	187	38	225	70	19	89	69	39	108	57	28	85			
山 支 市	127	48	175	281	49	330	42	14	56	92	31	123	60	23	83			
山 支 市	67	83	150	91	55	146	18	9	27	64	64	130	24	37	61			
山 支 市	320	125	445	705	77	782	94	9	103	293	48	341	198	37	235			
山 支 市	50	25	75	80	188	31	219	42	2	44	53	22	75	40	11	51		
山 支 市	45	17	62	50	15	65	4	1	5	31	12	43	12	7	19			
山 支 市	55	15	70	81	7	88	12	—	12	45	3	48	18	2	20			
山 支 市	33	6	39	60	5	65	7	1	8	14	1	17	14	1	15			
山 支 市	1,585	777	2,362	2,685	574	3,259	659	149	808	1,046	401	1,447	613	248	861			
山 支 市	129	134	263	360	161	521	171	59	230	135	138	273	67	84	151			
山 支 市	154	96	250	210	69	279	46	38	84	137	67	204	76	28	104			
山 支 市	24	9	33	14	5	19	15	1	16	9	5	14	2	1	3			
山 支 市	307	239	546	584	235	819	232	98	330	281	210	491	145	113	258			
山 支 市	116	247	363	162	187	349	63	110	173	112	263	375	53	102	155			
山 支 市	54	43	97	88	19	107	65	30	95	22	15	37	9	7	16			
山 支 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	176	290	466	254	205	460	128	140	268	138	278	416	64	109	173			
山 支 市	109	213	322	169	150	319	60	45	105	103	158	261	51	90	141			
山 支 市	109	213	322	169	150	319	60	45	105	103	158	261	51	90	141			
山 支 市	290	151	441	403	203	606	111	84	195	161	136	291	62	60	122			
山 支 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	239	198	437	450	232	682	139	84	223	178	154	332	68	82	150			
山 支 市	44	48	92	97	30	127	12	7	19	46	22	68	27	14	41			
山 支 市	13	5	18	21	2	23	1	1	2	13	2	15	5	2	7			
山 支 市	57	53	110	118	32	150	13	7	20	59	24	83	32	16	48			
山 支 市	80	217	297	140	227	367	14	17	31	32	177	209	26	129	155			
山 支 市	20	3	23	20	3	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	100	270	370	160	230	390	14	17	31	52	180	232	45	132	177			
山 支 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	7	4	11	16	5	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
山 支 市	13	7	20	23	12	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
福岡地方合計	3,909	2,081	5,990	4,713	1,737	6,450	1,275	549	1,824	2,021	1,472	3,493	1,111	837	1,948			

大阪地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (六十四箇所)
昭和五年十月分

職業紹介所名	求 人 數			求 職 者 數			登 錄 數			再 來 數			紹 介 狀 交 付 數			就 職 者 數		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大 阪 市	1,248	797	2,045	3,815	1,217	5,032	3,849	758	4,607	853	360	1,213	414	264	678			
大 阪 市	454	169	623	2,233	245	2,478	1,988	154	2,142	319	147	466	140	68	208			
大 阪 市	87	14	101	283	12	295	283	6	289	48	6	54	27	3	30			
大 阪 市	193	67	260	873	117	990	785	63	848	111	38	149	69	18	87			
大 阪 市	330	76	406	1,340	90	1,430	1,084	41	1,125	205	24	229	98	9	107			
大 阪 市	—	558	558	—	811	811	—	494	494	—	—	238	238	—	190			
大 阪 市	483	166	649	1,442	137	1,579	1,267	50	1,317	248	37	285	145	23	168			
大 阪 市	443	—	443	926	—	926	1,337	—	1,337	473	—	473	220	—	220			
大 阪 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
大 阪 市	1,082	—	1,082	1,739	—	1,739	188	—	188	1,202	—	1,202	750	—	750			
大 阪 市	38	5	43	128	14	142	123	5	128	31	5	36	22	2	24			
大 阪 市	—	318	318	—	160	160	—	19	19	—	154	154	—	111	111			

昭和五年十月分日備労働紹介旬報

旬報 table with columns for month, day, weather, job seekers, applicants, and introductions. Includes sub-sections for 上旬, 中旬, 下旬, and 備考.

昭和五年十月分日備労働紹介月報 (三旬合計) (五十三箇所)

月報 table with columns for agency names, job seekers, applicants, and introductions. Includes a comparison table for 前月 and 前月トノ比較.

昭和五年十月營利職業紹介月報 (道府縣別及職業別)

地方局別	道府縣別	求人数			求職者数						紹介件数			就職者数			營業者数	
		男	女	計	登録数		再来数		男	女	計	男	女	計	男	女		計
					男	女	男	女										
東京局管内	東京府	16,625	7,329	23,954	10,799	12,771	23,570	2,726	1,596	4,322	10,716	13,488	24,204	5,164	6,638	11,802	296	278
	京町工務局	120	1,329	1,449	127	955	1,082	114	209	323	93	1,100	1,193	62	918	980	57	51
	京町工務局	93	71	164	93	71	164	6	1	7	93	71	164	89	60	149	80	61
	神埼郡千茨村山長新	104	102	206	142	103	245	14	15	29	104	102	206	104	102	206	114	51
東京局管内	東京府	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	馬場町本梨野湯	31	36	67	19	44	63	2	5	7	15	41	56	15	41	56	22	17
	千代田	43	12	55	21	11	32	—	1	1	20	11	31	20	11	31	15	11
	葛西	5	3	8	5	3	8	—	1	1	5	3	8	5	3	8	20	6
	荒川	265	84	349	306	75	381	19	19	38	252	78	330	246	78	324	85	61
	足立	22	27	49	22	27	49	—	—	—	22	27	49	22	27	49	39	8
	計	17,308	8,692	26,000	11,534	14,106	25,640	2,908	1,847	4,755	11,320	14,106	25,426	5,727	7,878	13,605	728	534
大阪局管内	大阪府	8,816	15,908	24,724	8,210	16,848	25,058	2,543	5,488	8,031	8,359	16,818	27,470	1,230	9,755	13,985	355	338
	東區	589	2,804	3,393	648	3,145	4,093	76	634	710	887	5,422	4,309	215	1,226	2,141	135	83
	西區	1,965	5,835	7,800	1,577	4,878	6,455	733	1,536	2,269	1,246	4,755	6,001	912	3,669	4,581	292	170
	南區	159	297	456	112	226	338	21	29	50	96	189	285	92	172	264	140	63
	東區	25	25	50	65	61	126	6	2	8	16	63	79	16	63	79	26	11
	北區	11	32	43	15	30	45	—	1	1	15	33	48	3	29	32	17	7
	南區	152	47	199	176	57	233	7	2	16	155	42	197	153	12	165	73	21
	東區	111	335	446	121	342	463	1	7	8	77	314	391	53	255	308	37	28
	西區	61	271	332	131	300	431	9	55	64	45	252	297	42	224	266	25	14
	南區	107	118	225	116	125	241	9	15	24	101	118	219	98	113	211	57	29
	東區	61	74	135	90	80	170	7	19	26	51	67	118	52	67	119	147	48
	西區	25	51	76	29	55	84	—	—	—	19	46	65	19	46	65	52	16
	計	12,079	25,877	37,956	11,263	25,376	36,639	3,414	7,791	11,205	11,073	28,458	39,503	5,901	16,878	22,776	1,256	836
名古屋局管内	愛知縣	791	2,058	2,849	566	1,919	2,485	123	713	836	692	2,216	2,808	511	1,675	2,186	149	109
	岐阜縣	56	139	195	58	165	223	3	14	17	51	104	155	51	104	155	30	40
	石川縣	61	324	385	74	347	421	6	41	47	59	303	362	51	280	331	97	49
	福井縣	21	89	110	9	98	107	8	68	76	9	103	112	7	98	105	54	27
	山梨縣	11	17	28	26	8	34	1	1	2	14	5	19	5	3	8	2	2
	長野縣	61	355	416	74	404	478	2	16	18	59	341	399	39	300	339	44	39
	計	980	2,982	3,962	836	2,882	3,718	143	853	996	766	3,072	3,838	664	2,460	3,124	427	266
青森局管内	青森縣	31	48	79	28	43	71	—	—	—	28	43	71	—	—	—	—	—
	岩手縣	110	77	187	467	91	558	106	1	110	387	61	448	361	59	420	113	64
	秋田縣	8	2	10	8	2	10	—	—	—	8	2	10	—	—	—	—	—
	山形縣	4	15	19	1	16	20	—	—	—	4	15	19	—	—	—	—	—
	宮城縣	17	16	33	15	13	28	1	1	2	14	9	23	13	8	21	14	12
	福島縣	7	17	24	4	16	20	—	—	—	7	17	24	4	16	20	12	8
	茨城縣	12	2	14	7	2	9	—	—	—	12	2	14	—	—	—	—	—
	栃木縣	523	180	703	537	186	723	110	7	117	461	151	612	431	149	580	213	109
青森局管内	青森縣	600	5	605	610	10	620	14	—	14	586	7	593	558	7	565	121	63
	岩手縣	17	14	31	20	17	37	1	1	2	17	14	31	14	16	24	9	5
	秋田縣	33	31	64	29	29	58	6	—	6	29	28	57	29	28	57	60	29
	山形縣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	宮城縣	48	16	64	20	14	34	—	—	—	29	14	43	29	14	43	18	12
	福島縣	89	44	133	72	47	119	13	9	22	72	46	118	72	46	118	342	47
	青森縣	12	29	41	11	19	30	—	—	—	11	24	35	10	24	34	14	9
	計	790	142	932	762	136	898	32	15	47	735	133	868	703	129	832	565	156
合 計		31,680	18,111	49,791	24,932	43,528	68,461	6,607	16,513	23,120	24,355	47,883	70,215	13,426	28,381	40,417	3,211	1,811
工業及建築業		1,709	241	1,950	1,234	192	1,426	234	22	256	1,022	189	1,211	567	182	749	—	—
農林水産業		1,563	35	1,598	1,045	35	1,080	43	—	43	977	34	1,011	796	33	829	—	—
運輸及通信業		13,287	5,846	19,133	9,730	3,613	13,343	1,871	780	2,651	9,276	3,962	13,238	3,852	2,609	6,552	—	—
其他職業		536	116	652	617	172	789	73	30	103	599	151	750	595	146	741	—	—
計		5,573	2,278	7,851	4,070	2,045	6,115	1,870	984	2,854	4,287	2,144	6,431	1,961	1,475	3,436	—	—
日雇労働者		2,249	558	2,807	3,891	2,057	5,948	—	—	—	1,788	841	2,629	—	—	—	—	—

備考 日雇労働者ノ府縣別ハ省略ス

中央職業紹介事務局

東京市麹町區大手町社會局内
(電話九ノ内(三)二、九八七番)

東京地方職業紹介事務局
(東京市麹町區大手町社會局内
電話九ノ内(三)三、八八八番)

東京府 神奈川縣 埼玉縣
群馬縣 千葉縣 茨城縣
栃木縣 山梨縣 長野縣
新潟縣 大分縣 京都府 兵庫縣
奈良縣 滋賀縣 鳥取縣
和歌山縣 德島縣 香川縣
愛媛縣 高知縣 廣島縣
愛知縣 靜岡縣 三重縣
岐阜縣 福井縣 石川縣
富山縣 山口縣 岡山縣 長崎縣
山形縣 宮城縣 岩手縣 秋田縣

名古屋地方職業紹介事務局
(名古屋市中區御器所字出口二番
電話南五ノ一〇〇番)

各職業紹介所 (四)

福岡地方職業紹介事務局
(福岡縣區 電話一、九三二番)

各職業紹介所 (三七)

青森地方職業紹介事務局
(青森市神町五番地ノ五號
電話一、五二六番)

各職業紹介所 (四〇)

中央職業紹介事務局

電話九ノ内 二、八六七番

東京市京橋區北町九番地
東京市京橋區北町九番地
東京市京橋區北町九番地
電話京橋八一三番

昭和五年十二月二十二日印刷
昭和五年十二月二十四日發行

14.5
70

終